

教育委員会事務点検・評価報告書

(令和元年度事務事業対象)

令和2年 8月

呉市教育委員会

目 次

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨	1
2 呉市教育委員会の点検及び評価	
(1) 手順	2
(2) 対象	2
(3) 方法	2
3 知見の活用	3

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長	4
2 教育委員会委員	4
3 教育委員会会議	
(1) 令和元年度議決事項	4
(2) 令和元年度報告事項	6
4 研修会等への参加状況	
(1) 会議・研修会	8
(2) 行事等	8
(3) 学校訪問・公開研究会等	8
(4) その他	9

III 点検及び評価の結果

1 令和元年度対象課題と評価結果	10
2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け	
(1) 重点プロジェクト	11
(2) 基本政策	11

(令和2年度点検・評価シート)

・遠距離等通学児童生徒に対する支援（教育総務課）	12
・小中学校のブロック塀対策（学校施設課）	14
・小中一貫教育の推進（学校教育課）	16
・文化・芸術体験活動の推進（学校教育課）	18
・特別支援教育の推進（学校安全課）	20
・生徒指導の充実（学校安全課）	22
・安全対策の推進（学校安全課）	24

I はじめに

1 点検及び評価の趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）」が改正され、平成20年度から、教育委員会は毎年度、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、市民に公表することが義務付けられました。

本報告書は、令和元年度の呉市教育委員会に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行った結果を、教育に関し学識経験を有する者の意見を付して、報告するものです。

【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

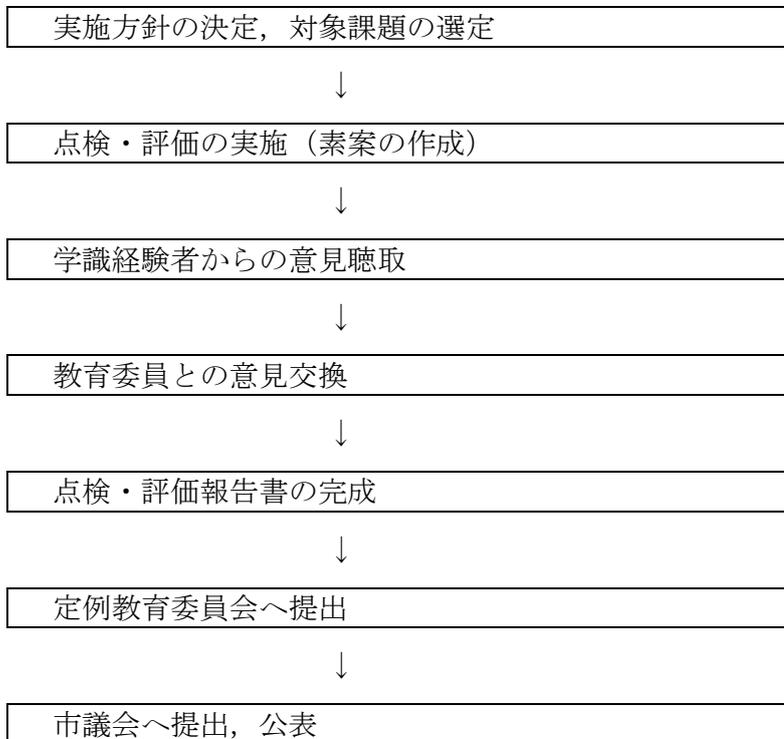
第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 呉市教育委員会の点検及び評価

(1) 手順

令和元年度に呉市教育委員会において執行した事務事業について、次の手順で点検及び評価を行いました。



(2) 対象

点検及び評価は、各部署が抱えている課題のうち、それぞれが令和元年度の重点課題と位置付けているもの（全7課題を抽出。以下「対象課題」といいます。）を対象としました。

※ 本報告書では、対象課題ごとに課題解決に向けて実施した事務事業の分析・評価を通じて、今後の取組を検討しています。対象課題については、10ページ「令和元年度対象課題と評価結果」を参照してください。

(3) 方法

点検及び評価は、各部署が抽出した対象課題ごとに、次の内容を明らかにすることにより行いました。

- ・対象
- ・事業概要（事業内容）
- ・実施方法
- ・意図・目的
- ・成果指標
- ・投入資源
- ・活動実績
- ・学識経験者の意見
- ・担当課の評価（自己点検・評価，現在の課題と課題解決の取組，今後の方向性）
- ・振り返り項目

■具体的な点検及び評価の方法

対象課題ごとに、「課題解決のためにどんな取組を行ったのか」「その結果どうだったのか」「何故うまくいかなかったのか、何が足りなかったのか」という視点で点検及び課題分析を行い、学識経験者の意見を踏まえ、達成状況等を評価し、「今後何が必要か、次年度以降にどうつなげていくのか」などについて「今後の方向性」としてまとめています。

■評価（評価結果）の判断基準

評価に当たっては、対象課題ごとに、「事業費」「人件費」「対象指標」「活動指標」「成果指標」の各項目を総合的に考察し、取組に対する達成状況を以下の基準に沿って評価しました。

指 標	評 価 に 当 た っ て の 基 準
A（達成）	十分成果が上がっている（計画どおりに進んでいる。）。
B（おおむね達成）	成果が上がっている（おおむね計画どおりに進んでいる。）。
C（一部未達成）	成果が十分でなく改善の余地がある（一部計画どおりに進んでいない。）。

3 知見の活用

点検及び評価は、その客観性を確保するため、呉市教育委員会において執行した事務事業の状況等について、次の3名の学識経験者の方から意見聴取を行いました。

・意見聴取日 令和2年7月3日（金）

氏 名	役 職 等
あさくら あつし 朝 倉 淳	安田女子大学教育学部児童教育学科教授
いしもと かずひろ 石 本 和 大	呉市PTA連合会副会長
ふるえ ゆきえ 古 江 由紀枝	呉市民生委員児童委員協議会会長 呉市社会教育委員

II 呉市教育委員会の概要

1 教育委員会教育長

(令和2年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	てらもと あり のぶ 寺本 有伸	H30. 4. 1～R3. 3. 31	

2 教育委員会委員

(令和2年4月1日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長職務代理者	もり お けい すけ 森 尾 敬 介	R2. 3. 27～R6. 3. 26	会社役員
委員	ふな お しん 船 尾 慎	H29. 4. 1～R3. 3. 31	保護者代表
委員	さ さ き はじめ 佐々木 元	H29. 9. 26～R3. 9. 25	歯科医師
委員	こ だに まき こ 小 谷 眞喜子	H31. 4. 1～R5. 3. 31	会社監査役

3 教育委員会会議

「呉市教育委員会会議規則（平成5年7月5日教委規則第9号）」において、定例会を毎月1回、必要がある場合には臨時会を開催することを定めています。

令和元年度においては、定例会を12回、臨時会を4回、それぞれ開催しました。

(1) 令和元年度議決事項（※：市長へ意見申出）

提案年月日	番号	件名
平成31年 4月26日	13	「教育委員会事務点検・評価（平成30年度事務事業対象）」の実施について
	14	呉市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	15	呉市立学校教職員服務規程及び呉市立呉高等学校教職員の人事評価に関する訓令の一部を改正する訓令の制定について
	16	呉市教科用図書採択に関する規程の一部を改正する訓令の制定について
	17	呉市重要文化財の指定について（財崎神社本殿）
	18	呉市重要文化財の指定について（多賀雄神社の社叢）
	19	呉市立小学校及び呉市立中学校の統合について
	20	呉市立小学校及び呉市立中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	21	臨時代理の承認について（職員人事）
	22	臨時代理の承認について（附属機関の委員の委嘱）
	23	臨時代理の承認について（教職員人事）

令和元年 5月27日	24	呉市立呉高等学校教職員の勤務時間及び休暇等に関する規則の一部を改正する規則の制定について
	25	呉市立呉高等学校教職員の人事評価に関する訓令の一部を改正する訓令の制定について
	26	令和2年度に呉市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	27	令和2年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について
	28	呉市伝統的建造物群保存地区保存審議会委員の委嘱について
令和元年 6月28日	29	呉市立小学校及び中学校通学区審議会委員の委嘱又は任命について
	30	呉市社会教育委員の委嘱又は任命について
	31	呉市立美術館運営審議会委員の委嘱について
	32	呉市立図書館協議会委員の委嘱又は任命について
	33	職員人事について
令和元年 7月19日	34	請願書について（2020年度使用小学校教科書の採択に係わる請願）
	35	呉市教育委員会教職員住宅管理規則の一部を改正する規則の制定について
令和元年 8月 1日	36	「教育委員会事務点検・評価（平成30年度事務事業対象）」に係る意見交換について
令和元年 8月22日	37	令和2年度教職員人事異動に係る呉市教育委員会の方針について
	38	「教育委員会事務点検・評価報告書（平成30年度事務事業対象）」について
	39	臨時代理の承認について（令和元年度教育費補正予算）※
	40	臨時代理の承認について（呉市立小中学校設置条例の一部改正）※
令和元年 8月23日	41	臨時代理の承認について（呉市立幼稚園条例の一部改正）※
	42	令和2年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について
	43	令和2年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択について
令和元年 9月27日	44	令和2年度使用教科用図書（中学校（「特別の教科 道徳」を除く。））の採択について
	45	令和2年度使用教科用図書（小学校）の採択について
令和元年 10月25日	46	呉市幼稚園条例施行規則及び呉市立幼稚園園則の一部を改正する規則の制定について
	47	臨時代理の承認について（教職員人事）
令和元年11月28日	48	公の施設の指定管理者の指定について※
	49	臨時代理の承認について（令和元年度教育費補正予算）※
	50	臨時代理の承認について（呉市立幼稚園条例の廃止）※
	51	臨時代理の承認について（呉市立呉高等学校条例の一部改正）※
	52	呉市立呉高等学校条例施行規則の一部を改正する規則の制定について
令和元年12月20日	53	臨時代理の承認について（呉市立美術館条例ほかの一部改正）※
	54	学校施設の建設計画について
	55	呉市立呉高等学校学則の一部を改正する規則の制定について
令和 2年 1月 9日	56	臨時代理の承認について（令和2年度教育費予算）※
	1	令和2年度教育費予算復活要求について※
令和 2年 1月29日	2	請願書について（「呉市教科用図書の採択に関する規程」の一部改訂を求める請願）
	3	令和2年度「呉の学校教育」
	4	臨時代理の承認について（令和元年度教育費補正予算）※

令和 2年 2月20日	5	呉市教育委員会事務局組織規則等の一部を改正する等の規則の制定について
	6	選挙運動のためにする個人演説会等開催のために必要な設備の程度等に関する規程の一部を改正する告示の制定について
	7	呉市教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程及び呉市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令の制定について
令和 2年 3月 9日	8	教職員人事について
令和 2年 3月23日	9	呉市教育委員会職名及び辞令式規則及び呉市教育委員会職員宣誓規則の一部を改正する規則の制定について
	10	呉市教育委員会事務決裁規程及び呉市教育委員会就業規程の一部を改正する訓令の制定について
	11	呉市立小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則及び呉市立呉高等学校管理規則の一部を改正する規則の制定について
	12	呉市立呉高等学校時間講師任用規則の制定について
	13	呉市外国語指導助手任用規則の制定について
	14	呉市立学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則の制定について
	15	呉市文化財保護委員の委嘱について
	16	職員人事について
	17	教職員人事について

(2) 令和元年度報告事項

報告年月日	番号	件 名
平成31年 4月26日	4	寄附受納について
	5	呉市いじめ問題調査委員会の開催状況について
令和元年 5月27日	6	令和2年度使用教科用図書（小学校）の採択手続について
	7	令和2年度使用教科用図書（小学校）採択のための調査・研究要項
	8	令和2年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」を除く。）の採択手続について
	9	令和2年度使用教科用図書（中学校「特別の教科 道徳」を除く。）採択のための調査・研究要項
	10	令和2年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択手続について
	11	令和2年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択手続について
	12	寄附受納について
	13	令和元年度学校別児童，生徒数等について
令和元年 6月28日	14	広島県に対する提案事項について
	15	債権の放棄について
令和元年 7月19日	16	平成30年度学校安全の状況について
	17	専決処分について
	18	令和2年度呉市立呉高等学校入学者選抜について
令和元年 8月22日	19	呉市立美術館の次期指定管理者の選定について
	20	呉市立小中学校施設の耐震化の状況について
	21	寄附受納について
令和元年 9月27日	22	呉市立天心中学校仮移転の解消方針について
	23	令和元年度教育費補正予算について

令和元年10月25日	24 25	文化部活動の方針について 呉市使用料, 手数料の見直しについて
令和元年11月28日	26 27	平成30年度定期監査の結果改善又は検討を要する事項の措置について 民事訴訟の結果について
令和元年12月20日	28 29 30 31	住民訴訟の結果について 平成30年度生徒指導上の諸課題の状況について 呉市立呉高等学校の令和2年度入学者選抜実施要項について 令和元年度教育費補正予算について
令和2年1月9日	1	令和2年度教育費予算について
令和2年1月29日	2 3 4 5	寄附受納について 令和2年度教育費予算復活要求について 学校給食に関するアンケート調査結果(概要)について 新型コロナウイルスに関連した感染症対策に関する対応について
令和2年2月20日	6	令和元年度教育費補正予算について
令和2年3月23日	7 8 9	呉市立学校の教育職員の在校等時間の上限等に関する方針について 寄附受納について 新型コロナウイルス感染症に係る対応について

4 研修会等への参加状況

(1) 会議・研修会

時 期	名 称	概 要
令和元年 5月	広島県市町教育委員会連合会総会 (広島市で開催)	委員 1 名が出席
令和元年 7月	中国地区市町村教育委員会連合会研修大会 (萩市で開催)	委員 1 名が出席
令和元年10月	広島県市町教育委員会教育委員研修会 (広島市で開催)	委員 2 名が出席
令和元年11月	広島県女性教育委員グループ第2回研修会 (尾道市で開催)	委員 1 名が出席
	市町村教育委員会研究協議会 (鳥取市で開催)	委員 4 名が出席
令和 2年 3月	広島県女性教育委員グループ第3回研修会	委員 1 名が出席の予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止

(2) 行事等

時 期	概 要
平成31年 4月	呉市立呉高等学校入学式に出席
	呉市立小・中・高等学校合同校長会に出席

(3) 学校訪問・公開研究会等

時 期	名 称	概 要
令和元年10月	小中一貫教育研究会 (広中央, 呉中央, 明德, 豊浜中学校区で開催)	小中一貫教育について実践的な研究を行う学校において, 研究発表や授業参観(公開研究会)を実施
令和元年11月	公開研究会	昭和北中学校(令和元年度広島県中学校教育研究会保健体育科研究大会(呉大会))で開催
	公開研究会	仁方中学校区(平成30年度・令和元年度広島県学力向上推進地域事業指定校)で開催

(4) その他

時 期	名 称	概 要
令和元年 7月 令和元年12月	呉市青少年問題協議会	委員 1 名が受嘱 ※事務局は文化スポーツ部文化振興課，任期 2 年
令和 2年 1月	呉市環境審議会	委員 1 名が受嘱 ※事務局は環境部環境政策課，任期 2 年

Ⅲ 点検及び評価の結果

1 令和元年度対象課題と評価結果

	課 名	対 象 課 題	評 価
1	教育総務課	・遠距離等通学児童生徒に対する支援	A
2	学校施設課	・小中学校のブロック塀対策	B
3	学校教育課	・小中一貫教育の推進	B
		・文化・芸術体験活動の推進	A
4	学校安全課	・特別支援教育の推進	A
		・生徒指導の充実	B
		・安全対策の推進	A

※全7課題

※評価欄「A」＝達成, 「B」＝おおむね達成, 「C」＝一部未達成

2 「第4次呉市長期総合計画」における対象課題の位置付け

注1) 後期基本計画【令和元年度改定版】から教育委員会関係分を抜粋

注2) 令和2年度点検・評価シートの「点検項目の位置付け・根拠」欄参照

(1) 重点プロジェクト

重点戦略	重点プロジェクト	5年間（H28～R2）で重点的に取り組む事業	
1 人づくり	(1) 未来を担う人材の育成	ア 心豊かでたくましい「呉の子ども」を育てる教育の推進	(ア) 特色ある呉の教育の推進 (イ) 小中一貫教育の推進 (ウ) 小中学校施設の建替え (エ) 小中学校普通教室への空調設備の設置 (オ) 安浦中学校給食室の整備 (カ) タブレットを活用した教育の推進
		イ 高等学校教育の充実	(ア) 呉高等学校教育備品のICT化の推進 (イ) 呉高等学校施設の耐震化 (ウ) 呉高等学校選択教室への空調設備の設置

(2) 基本政策

まちづくり分野	基本政策	基本施策	5年間（H28～R2）で取り組む代表的な施策	
1 教育分野	(1) 学校教育	ア 幼児教育の充実	(ア) 幼児教育の充実	
		イ 義務教育の充実	(ア) 教育内容の充実 (イ) 特別支援教育の推進 (ウ) いじめなどの問題行動や不登校への取組 (エ) 安全・安心な環境づくり (オ) 教育環境の整備 (カ) 地域に開かれた特色ある学校づくり (キ) 企業・高等教育機関等との連携	
		ウ 高等学校教育の充実	(ア) 学力の向上による進路実現 (イ) 地域・社会に貢献する人材の育成 (ウ) 教育環境の整備 (エ) 高等学校教育の振興	
	(2) 社会教育	ア 家庭教育・青少年教育の充実	(ア) 保護者の教育力の向上 (イ) 地域の教育力の活用	
	(3) 文化・スポーツ	ア 文化の振興		(ア) 質の高い文化芸術に触れる機会の拡充 (イ) 市民の文化芸術活動の振興 (ウ) 文化財の保存と活用 (エ) 伝統文化の継承

令和2年度点検・評価シート

評価対象年度	令和元年度
--------	-------

整理番号	1	課G名	教育総務課 企画G
点検項目	遠距離等通学児童生徒に対する支援	評価者	教育総務課長 安倍 広志
		作成年月日	令和2年5月20日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	11 学事費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	18 通学支援事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令、条例、個別計画等)	・呉市遠距離等通学費補助金交付要綱 ・呉市補助金等交付規則
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び保護者											
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>1 遠距離等通学費補助制度 児童生徒が、遠距離などのため学校長の許可を得て公共交通機関を利用して通学する場合に、その定期代相当額を保護者に補助する。</p> <p>(1) 補助率 10/10 ※ 6か月定期券の券面額を補助の上限とするため、割引率の低い短い期間の定期券を購入した場合は、全額補助とならない。</p> <p>(2) 保護者負担の軽減を図るため、基本的に定期券の現物支給により補助する。</p> <p>2 スクールバス・タクシー運行業務 徒歩・自転車での通学が困難で、かつ、公共交通機関を利用して通学することが困難な地域に住む児童生徒に対して、スクールバス・タクシーを運行する。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">運行状況</td> <td>車両所有者</td> <td>地 区</td> </tr> <tr> <td>呉 市</td> <td>下蒲刈, 倉橋, 蒲刈</td> </tr> <tr> <td>民間事業者</td> <td>昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊</td> </tr> </table>					運行状況	車両所有者	地 区	呉 市	下蒲刈, 倉橋, 蒲刈	民間事業者	昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊
運行状況	車両所有者	地 区										
	呉 市	下蒲刈, 倉橋, 蒲刈										
	民間事業者	昭和, 吉浦, 倉橋, 安浦, 豊浜, 豊										
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input checked="" type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他						
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	児童生徒の通学手段及び通学時の安全を確保するとともに、保護者の経済的負担の軽減を図る。		(5) 成果指標 指標名と説明	①児童生徒の通学に係る保護者の経済的負担軽減額 ②スクールバス・タクシーの安全な運行状況								

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	7,258	5,003	642	613
			県支出金 ②	千円	1,451	1,000	128	122
			地方債 ③	千円	3,400	2,500	3,300	3,300
			その他 ④	千円				
			一般財源 ⑤	千円	105,030	95,514	97,715	106,206
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	117,139	104,017	101,785	110,241
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役	1.70	1.70	1.40	1.40
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役			1.00	1.00
			上記以外 ④	千円				
【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)			千円	14,302	14,302	13,949	13,949	
フルコスト【A】+【B】			千円	131,441	118,319	115,734	124,190	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	小 10,570 中 5,128	小 10,435 中 5,091	小 10,390 中 4,933	小 10,125 中 4,935	
		② 遠距離等通学費補助対象校	校	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/36 中 18/26	小 19/35 中 17/25	
		③ スクールバス・タクシー対象校	校	小 9/36 中 2/26	小 8/36 中 2/26	小 8/36 中 2/26	小 7/35 中 3/25	
	活動指標	① 遠距離等通学費補助金交付人数	人	小 1,086 中 746	小 1,023 中 682	小 966 中 644	小 949 中 682	
		② スクールバス・タクシー利用児童生徒数	人	小 294 中 55	小 219 中 44	小 205 中 41	小 186 中 52	
	成果指標	① 保護者の経済的負担軽減額(遠距離等通学費補助額)	千円	小 36,314 中 49,190	小 33,611 中 42,557	小 31,874 中 41,698	小 33,951 中 46,449	
		② スクールバス・タクシーの安全な運行(事故件数)	件数	事故 0件	事故 0件	事故 0件		
	特記							

4 学識経験者の意見

・スクールバス・タクシーは、災害時や新型コロナウイルス感染症対策で長期間休校したときでも、弾力的に運用してもらっており、安心した。
 ・今後も、子どもたちが安心して利用できるよう、安全に運行してもらいたい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠距離等通学費補助制度により、児童生徒の通学に係る保護者の経済的負担を軽減した。 ・スクールバス・タクシーの運行により、安全な通学手段を確保した。 ・スクールバス・タクシー運行業務について、複数年契約を拡大した(2路線において、債務負担行為を設定)。 ・スクールバス・タクシー運行契約について、安全運行に関わる条項の見直しを行った。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・スクールバス・タクシー運行業務は、運転手の人件費高騰などにより、経費が増大していく可能性がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・遠距離等通学費補助制度とスクールバス・タクシーの運行の継続により、児童生徒の通学手段及び通学時の安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図る。 ・スクールバス・タクシー運行業務について、スクールバスの安全性・確実性を保ちつつ、経費の増大を抑制する手法を検討する。 	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数年契約の拡大により、より安価で、より安全なスクールバス・タクシーの運行を確保する。 ・運行契約の安全運行に関わる条項の見直しにより、スクールバス・タクシーのより一層の安全運行を確保する。 ・遠距離等通学費補助制度とスクールバス・タクシーの運行の継続により、児童生徒の通学手段及び通学時の安全の確保と保護者の経済的負担の軽減を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2路線において、複数年契約のための債務負担行為を設定した。 ・安全運行に関わる条項の見直しを行った。 ・児童生徒の通学手段及び通学時の安全を確保し、また、保護者の経済的負担を軽減した。

令和2年度点検・評価シート

		評価対象年度	令和元年度
整理番号	2	課G名	学校施設課 施設G
点検項目	小中学校のブロック塀対策	評価者	学校施設課長 森川 英司
		作成年月日	令和2年5月26日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	小学校費(中学校費)		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	01 学校管理費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	小学校施設整備費(中学校施設整備費)		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	小学校施設整備事業(中学校施設整備事業)		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・学校教育法第5条 ・建築基準法施行令
	<input checked="" type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	<p>平成30年6月18日朝に大阪府北部を襲った最大震度6弱の地震により、大阪府高槻市において児童が倒壊したブロック塀の下敷きになるなどの事故があった。これを受け、呉市内の全小中学校について緊急点検を行った結果、ブロック塀の高さ超過や控え壁の不備など、建築基準法施行令で定める基準に不適合であるブロック塀があることが判明したため、計画的にフェンス等への改修を行う。</p> <p>【調査対象】（平成30年6月実施）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校38校(休校2校を含む。), 中学校28校(休校2校を含む。)の合計66校 <p>【調査結果】（建築基準法施行令基準不適合及び健全度合の悪いもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校21校(プール周りのブロック塀を含む。), 中学校13校の合計34校 <p>【当初の対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路に面するブロック塀など児童生徒や地域住民が被害を受ける危険性があるものについては、カラーコーンや注意喚起の張り紙を設置した。また、当該箇所付近に近づかないよう児童生徒に指導するとともに、保護者へ通知した。 ・倒壊した高槻市のブロック塀と形状が類似していた両城小学校プールのブロック塀については、平成30年7月に撤去している。 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査結果に基づき、特に緊急性の高いものについては、平成30年12月補正予算に計上し、残りは令和2年度当初予算で対応する。 （平成30年12月補正予算対象校） ・小学校: 両城小学校外11校, 中学校: 阿賀中学校外3校の合計16校 （令和2年度当初予算対象校） ・小学校: 白岳小学校外8校, 中学校: 郷原中学校外8校の合計18校 <p>【進捗状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年12月補正予算計上分については、令和元年度へ繰り越し、工事を完了した。 ただし、片山中学校のブロック塀については、予算不足が生じたため、令和元年12月補正予算に再計上し、令和2年6月に工事を完了した。 ・令和2年度当初予算対応分については、年度末までに危険なブロック塀を解体・撤去し、新たにフェンスを設置する。 					
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	児童生徒、教職員及び地域住民が、安心して安全な学校生活を送れるよう、危険なブロック塀を解体・撤去する。		(5) 成果指標 指標名と説明	調査結果において問題のあった34校について、令和2年度末までに施工完了する。		

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円			22,068	
			県支出金 ②	千円				
			地方債 ③	千円		10,800	101,200	136,200
			その他 ④	千円				
			一般財源 ⑤	千円		2,887	6,974	0
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	0	13,687	130,242	136,200
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役		2.00	4.00	4.00
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役				
			上記以外 ④	千円				
【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)			千円	0	16,826	33,652	33,652	
フルコスト【A】+【B】			千円	0	30,513	163,894	169,852	
活動実績	対象指標	① 学校数(休校を含む)	校		66	66	64	
		② 小中学校児童生徒数	人		15,526	15,323	15,060	
	活動指標	① 学校にブロック塀を有している学校数	校		49	34	15	
		② 上記の総延長	m		7,340	5,895	4,792	
	成果指標	① 建築基準法施行令不適合などのブロック塀を有している学校数	校		34	19	0	
		② 上記の総延長	m		2,548	1,103	0	
特記								

4 学識経験者の意見

- ・ブロック塀以外にも、学校施設全体で老朽化が進んできていると思う。定期的に点検し、計画的に修繕等を行ってほしい。
- ・通学路についても、ブロック塀や樹木等、危険な箇所が多いと思うので、所有者等への働き掛けをするなどして、安全確保をお願いしたい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果 <p style="font-size: 2em; text-align: center;">B</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨災害の復興業務の中、営繕課及び土木整備課の協力を得て、令和元年度末までに15校について施工を完了することができた。 ・片山中学校については、年度中に完成できなかったため、予算を繰り越して令和2年6月に施工を完了した。 ・残りの学校についても、測量・設計業務終了後、工事発注を行い、今年度末までの施工完了を目指す。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・業務・工事件数が多いため、関係課とのスケジュール調整が必要になる。 ・危険度判定により対策の対象外としたブロック塀について、老朽化や劣化などの健全度合いを再調査する必要がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・残ったブロック塀について、内部を探查するなどの再調査を行い、対応策について関係課と協議する。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・施工予定で境界が不明な学校については、スムーズに測量・調査に取り掛かれるよう、所有者確認などの事前調査を行う。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・法務局において公図及び登記簿を事前に調査することで、隣接地の所有者を速やかに特定することができ、スムーズに測量・調査につなげることができた。

令和2年度点検・評価シート

		評価対象年度	令和元年度
整理番号	3	課G名	学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	小中一貫教育の推進	評価者	学校教育課長 安部 はずみ
		作成年月日	令和2年5月20日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	■ 総合計画 重点プロジェクト	
	款	19 教育費			<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	10 中学校費			<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	05 教育振興費			<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 中学校教科等研修・研究費			<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	12 小中一貫教育推進事業外3事業			事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・学習指導要領 ・呉市小中一貫教育研究事業等補助金交付要綱 ・小中一貫教育推進加配講師措置要領	
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの				
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務				

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒及び教職員				
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 小中一貫教育推進加配講師の配置 (1) 中学校区内の小学校5・6年生の合計学級数が原則7以上となる中学校に非常勤講師を配置し、乗り入れ授業が行えるようにした。 (2) 小学校3年生から6年生の全クラスで、週1時間以上担任とティーム・ティーチングができるように非常勤講師を配置し、小学校の外国語教育の研究を推進するとともに、中学校への円滑な接続を図った。 2 小中一貫教育研究指定事業の実施(平成19年度～) (1) 小中一貫教育の実践的研究を行うため、中学校区を指定し、補助金を交付した。 (2) 指定中学校区による公開研究発表会を開催した。 令和元年度実施: 広中央中学校区, 呉中央中学校区, 明德中学校区, 豊浜中学校区 3 教職員の資質向上に向けた研修会の実施 (1) 小中一貫教育推進コーディネーター研修会の実施(平成19年度～) 中学校区が目指す「考える授業」の実現に向け、授業改善を組織的に進めるための視点と手法を学ばせるため、外部有識者を招へいして1回実施した。 (2) 呉市「学びの変革」推進研修会 各中学校区における資質・能力の育成を目指し、カリキュラムマップに基づいた総合的な学習の時間を展開するとともに、「課題発見・解決学習」の実践・検証をするための授業研究の進め方や個に応じた指導の方法等を学ばせるための研修を年3回実施した。				
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他				
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	義務教育9年間を修了するにふさわしい学力と社会性を育成する。		(5) 成果指標 指標名と説明	①全国学力・学習状況調査結果の全国平均との差 ②中学生の暴力行為発生件数, 中学生のいじめ認知件数, 中学生の不登校生徒数	

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)		
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	16,010	12,531	19,035	14,000
			県支出金 ②	千円	0			
			地方債 ③	千円				
			その他 ④	千円	101	76	75	80
			一般財源 ⑤	千円	16,394	17,201	17,830	20,086
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	32,505	29,808	36,940	34,166
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役	5.78	5.61	4.23	4.23
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役				
			上記以外 ④	千円				
【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)			千円	48,627	47,197	35,587	35,587	
フルコスト【A】+【B】			千円	81,132	77,005	72,527	69,753	
活動実績	対象指標	①	呉市立小学校児童数	人	10,570	10,435	10,390	10,125
			呉市立中学校生徒数	人	5,128	5,091	4,933	4,935
		②	呉市立小学校教職員数	人	673	667	690	674
			呉市立中学校教職員数	人	443	445	456	448
	活動指標	①	研究指定校数	校	8	8	9	5
		②	小中一貫教育研究会開催数	回	4	4	4	5
	成果指標	①	全国学力・学習状況調査結果全国平均値との差(小学校国語, 中学校国語)	ポイント	小 4.7 中 3.4	小 11.6 中 3.7	小 5.2 中 2.2	—
			全国学力・学習状況調査結果全国平均値との差(小学校算数, 中学校数学)	ポイント	小 4.5 中 3.3	小 8.0 中 4.0	小 2.4 中 2.2	—
		②	中学生の暴力行為発生件数	件	37	39	44	—
			中学生のいじめ認知件数 中学生の不登校生徒数	件 人数	83 110	65 86	64 116	—
特記	令和2年度の小中一貫教育研究会は、新型コロナウイルス感染症の影響により開催せず、令和3年度の開催を検討している。							

4 学識経験者の意見

- ・呉市は小中一貫教育に先進的に取り組み、小学校と中学校との間の接続については成果を上げていると思う。ただ、呉市だけでなく全国的に、学年と学年との間の接続については取組が遅れていると思うので、そちらにも力を入れてほしい。
- ・中学生の問題行動が増加しているとのことだが、学校でもいろいろ努力をしているし、できることには限界があると思う。地域で担うことができる役割もあることや、就学前教育・家庭教育の重要性についても、保護者に対する啓発活動に努めてもらいたい。

5 担当課の評価

評価項目	評価結果	評価内容
(1) 自己点検・評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育研究指定事業等により研究・実践が進み、各中学校区の児童生徒の課題分析や改善策を小中学校の教職員が共有し取り組むことで、全国学力・学習状況調査において、平成25年度以降、全ての教科で全国平均を上回っており、学力が向上したことを検証できた。 ・小中一貫教育の取組を基盤とし、自尊感情の向上に向けた取組を継続するとともに、個別の課題に対応した取組を進めているが、暴力行為発生件数・不登校生徒数が増加している。 ・小学校における外国語授業のための加配講師の配置により、全小学校の3年生から6年生までの授業実践の研究が進み、新学習指導要領に沿った外国語教育を先行して実施することができた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう、教科の本質に迫る「考える授業づくり」を行う必要がある。また、国の新たな評価の方針に基づき、育成を目指す資質・能力の内容の見直しや、カリキュラムマップの中心に据える総合的な学習の時間の整備を継続して行い、充実させていく必要がある。 ・暴力行為発生件数・不登校生徒数が増加傾向にあるので、スクールカウンセラー等との連携を進めるとともに、各学校での自尊感情を高めるための取組を継続し、児童生徒一人一人の実態に応じた個別指導の充実を図る。 ・新学習指導要領の趣旨に沿って、研究指定中学校区を中心として行われた研究の成果を整理し、各学校に普及させていく必要がある。
(3) 今後の方向性		<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」が実現するよう、総合的な学習の時間を充実させるとともに、教科の本質に迫る「考える授業づくり」について、小中学校で連携しながら研究を深める。 ・学校との連携を密にして、児童生徒の実態把握を確実に行うとともに、育成を目指す資質・能力、組織的な指導の在り方や個に応じた指導方法について、研修の充実を図る。 ・令和2年度の公開研究会等は開催せず、第3期で進めてきた実践研究を継続することとし、令和3年度での開催を目指す。

振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要)	昨年度の方向性に対する取組状況
	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間の充実や、「課題発見・解決学習」を取り入れた「考える授業づくり」の推進のため、研修を実施する。 ・組織的な指導の在り方と個に応じた指導方法について、研修の充実を図る。 ・小学校における外国語科の指導方法について、研修を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総合的な学習の時間について、学校を会場としての、授業提案を基にした研修会や、授業改善の方針である「課題発見・解決学習」を取り入れた「考える授業」づくりを全教員に周知する研修会を実施した。また、その成果を全小中学校に普及させるため、各学校のホームページに学習指導案を掲載した。 ・個に応じた指導方法についての研修会や学校訪問等において「分かる授業」のための具体的な指導・助言を行った。 ・外国語科の指導方法について、授業提案を基にした研修会を実施し、各小学校で参考となる児童の学習到達目標を設定した。

令和2年度点検・評価シート

評価対象年度	令和元年度
--------	-------

整理番号	4	課G名	学校教育課 小中一貫教育指導G
点検項目	文化・芸術体験活動の推進	評価者	学校教育課長 安部 はずみ
		作成年月日	令和2年5月20日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	■ 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		□ 地方創生関連
	項	05 小学校費		□ 合併建設計画
	目	05 教育振興費		□ 過疎地域自立促進計画
	事業	11 小学校児童指導・行事費		□ 復興計画
	細事業	10 小学校文化行事事業 外1事業		事業開始年度
事業類型	□ 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・学習指導要領
	□ 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	■ 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒					
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 和洋音楽ふれあい事業	<p>■ 目的 我が国の伝統的な音楽や世界各国の音楽に触れることにより、音楽的感性を育てる。</p> <p>■ 内容 オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～…広島交響楽団による参加型の演奏会(小5, 36校) 洋楽鑑賞会…ピアノ, バイオリン等の鑑賞(小25校) 邦楽鑑賞会…琴, 三味線, 尺八等の鑑賞(小5・小6, 18校)(中1～3, 9校) 中学校吹奏楽クリニック(18校) 呉市立中学校夏の演奏会(17校)</p>				
	2 美術作品ふれあい事業(全小学校が参加)	<p>■ 目的 呉市立美術館と蘭島閣美術館等の美術作品に触れることにより、美術的感性を育てる。</p> <p>■ 内容 呉市立美術館での美術作品の鑑賞(小4, 36校) 蘭島閣美術館等での美術作品の鑑賞(小6, 36校)</p>				
	3 ふるさと文化探訪事業(全小学校が参加)	<p>■ 目的 「日本遺産」の構成文化財がある入船山記念館や大和ミュージアム, 国の「重要伝統的建造物群保存地区」に指定されている御手洗町並み保存地区を訪ねることで、呉市の文化と歴史を知り、郷土呉市を愛する心を育てる。</p> <p>■ 内容 入船山記念館の見学(小4, 36校) 大和ミュージアム館内の見学(小5, 36校) 御手洗町並み保存地区の見学(小6, 36校)</p>				
(3) 実施方法	■ 直接実施	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 指定管理者	□ 補助事業	□ その他
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	未来を担う子どもたちに、郷土の歴史や文化・芸術に触れる体験をさせることにより、豊かな感性と郷土を愛する心を育てる。		(5) 成果指標 指標名と説明	①オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～実施率 ②大和ミュージアム見学実施率 ③美術作品ふれあい事業、ふるさと文化探訪事業実施率		

3 投入資源・活動実績

区分		単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)		
投入資源	事業費	財源内訳						
		国庫支出金 ①	千円					
		県支出金 ②	千円					
		地方債 ③	千円	3,100	3,100	3,500	3,500	
		その他 ④	千円			4,049	4,952	
	一般財源 ⑤	千円	8,098	7,974	4,944	4,465		
	【A】(①+②+③+④+⑤)		千円	11,198	11,074	12,493	12,917	
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役	2.36	2.14	2.46	2.46
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役				
上記以外 ④			千円					
【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)		千円	19,855	18,004	20,696	20,696		
フルコスト【A】+【B】		千円	31,053	29,078	33,189	33,613		
活動実績	対象指標	①【オーケストラ鑑賞教室】 【大和ミュージアム】小学校校数	校	36	36	36	35	
		②【美術作品ふれあい】 【ふるさと文化探訪】対象人数(4, 6年生)	人	3,581	3,455	3,564	3,559	
	活動指標	①【オーケストラ鑑賞教室】 【大和ミュージアム】実施校数	校	36	36	36	35	
		②【美術作品ふれあい】 【ふるさと文化探訪】対象人数(4, 6年生)	人	3,581	3,455	3,564	3,559	
	成果指標	①【オーケストラ鑑賞教室】実施率	%	100	100	100	100	
		②【大和ミュージアム】実施率	%	100	100	100	100	
③【美術作品ふれあい】 【ふるさと文化探訪】実施率		%	100	100	100	100		
特記	<p>・令和元年度から、これまで実施していた「連合音楽会」と「オーケストラ鑑賞教室」の2事業を一本化し、「オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～」として統合したため、指標の見直しを行った。</p> <p>※ 平成30年度「連合音楽会」実施校18校→令和元年度「オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～」実施校36校</p> <p>・令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催しない。</p>							

4 学識経験者の意見

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに生の体験をさせることは、とてもいい取組だと思う。ぜひ続けていってもらいたい。 ・予備知識があるかないかで、実際に鑑賞する際の見方が大きく変わってくると思うので、事前指導に力を入れてほしい。 ・教育の専門性を生かして、児童にとって分かりやすい資料を工夫して作成してほしい。
--

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	<p>評価結果</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p> <p>・御手洗町並み保存地区での乙女座や旧金子家住宅の見学において、ガイドから説明を受けることにより、保存地区の歴史的な価値等について、より理解を深めることができました。</p> <p>・日本の伝統音楽に対する理解が深まり、音楽に対する関心・意欲と技能が向上した。また、日々の授業と連動させた「オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～」を実施することにより、児童がより主体的に参加することができた。保護者も100人以上の参加があった。事前に教員対象の音楽研修会を実施し、具体的な指導方法を伝達しておいたことで、教員の指導力向上にもつながり、児童にとってもこれまで以上に豊かな体験活動となった。</p>
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<p>・呉市立美術館見学における見学資料について、一読しただけでは理解が難しい内容が含まれていた。このため、内容を十分理解できていない児童もいたので、資料の内容について見直しを行う。</p>
(3) 今後の方向性	<p>・呉市立美術館見学について、児童にとって分かりやすい資料の作成を行う。また、早期に資料を配付することで、各学校が見通しを持って丁寧に事前指導を行い、児童が文化と歴史への理解をより一層深めることができるようにしていく。</p>
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <p>・御手洗町並み保存地区の見学について、旧金子家住宅や乙女座の見学にガイドを付け、重要伝統的建造物群保存地区の理解を深められるようにしていく。</p> <p>・小学校5年生を対象とした「オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～」を開催する。主体的な学びを進めることができる音楽プログラムを年間計画に位置付けさせるとともに、教員が指導方法を学ぶための研修会も開催する。</p> <p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <p>・御手洗町並み保存地区の歴史的な価値等について、より理解を深めることができるよう、乙女座や旧金子家住宅について、ガイドの説明を受けられるように日程の工夫を行った。</p> <p>・呉市内の全小学校5年生を対象とした「オーケストラ鑑賞教室～くれリンクアップコンサート～」を開催した。コンサートに向けて、音楽プログラムを年間指導計画に位置付けるとともに、教員対象の音楽研修会も実施した。</p>

令和2年度点検・評価シート

評価対象年度	令和元年度
--------	-------

整理番号	5	課G名	学校安全課 生徒指導G
点検項目	特別支援教育の推進	評価者	学校安全課長 榎田 隆志
		作成年月日	令和2年5月29日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	11 特別支援教育推進事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・特別支援教育相談員設置要綱 ・特別支援学級指導員派遣要綱 ・学校教育指導補助員派遣要綱 ・呉市就学指導委員会規則
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒											
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 特別支援学級指導員及び学校教育指導補助員の配置											
	ア 特別支援学級指導員:特別支援学級における児童生徒の指導の援助 イ 学校教育指導補助員:通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒の指導の援助											
		平成29年度		平成30年度		令和元年度						
		人数	派遣校	人数	派遣校	人数	派遣校					
		特別支援学級指導員	51人 26校	51人 28校	51人 30校	51人 30校	51人 30校					
		学校教育指導補助員	52人 30校	58人 33校	58人 32校	58人 32校	58人 32校					
	2 教職員の指導力向上及び特別支援教育推進のための環境・体制づくり											
	(1) 専門家の巡回相談による校内研修の実施											
	平成29年度		平成30年度		令和元年度							
	40校	81回	45校	86回	37校	80回						
	(2) 「呉市のスタンダード(「掲示」「ロッカー」「机・椅子」)」の取組を全ての小中学校で実施											
	3 就学指導の充実に向けた取組											
	(1) 就学相談を受けた就学前児童数											
	(()内は就学指導方針と異なる就学先を決定した児童の割合)											
	平成29年度		平成30年度		令和元年度							
	79人(4%)	91人(8%)	78人(10%)									
	(2) 呉市ホームページへの掲載や就学相談案内の配布等による積極的な周知・働き掛け											
	(3) 呉市内の全保育所・幼稚園との連携を基にした丁寧な就学相談や就学指導の実施											
	4 保幼小中連携の充実に向けた取組											
	(1) 呉市保幼小連携に関する代表者会の実施											
	(2) 保幼小中合同研修会の実施											
	(3) 保幼小中で様式を統一した「個別の教育支援計画」による連携											
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施		<input type="checkbox"/> 一部委託		<input type="checkbox"/> 全部委託		<input type="checkbox"/> 指定管理者		<input type="checkbox"/> 補助事業		<input type="checkbox"/> その他	
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	・障害のある児童生徒の自立や社会参画につなげるため、個々の実態に応じて適切な指導及び必要な支援を行う。 ・教職員の指導力を向上する。						(5) 成果指標 指標名と説明	①特別支援学級指導員の必要人数に対する配置人数				
								②学校教育指導補助員の必要人数に対する配置人数				

3 投入資源・活動実績

投入資源		区分	単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	61,914	83,853	60,563	60,000
			県支出金 ②	千円				
			地方債 ③	千円				
			その他 ④	千円	422	434	412	483
			一般財源 ⑤	千円	98,177	79,326	100,479	124,580
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	160,513	163,613	161,454	185,063
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役	1.20	1.20	1.20	1.20
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役				
			上記以外 ④	千円				
【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)			千円	10,096	10,096	10,096	10,096	
フルコスト【A】+【B】			千円	170,609	173,709	171,550	195,159	
活動実績	対象指標	① 特別支援学級在籍児童生徒数(児童数)	人	358 (247)	374 (279)	412 (308)	427 (320)	
		② 通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒数(児童数)	人	371 (228)	408 (264)	397 (264)	381 (220)	
	活動指標	① 特別支援学級指導員配置数	人	51	51	51	52	
		② 学校教育指導補助員配置数	人	52	58	58	55	
	成果指標	① 特別支援学級指導員の配置人数/必要人数	人	51/51	51/51	51/51	52/52	
		② 学校教育指導補助員の配置人数/必要人数	人	52/52	58/58	58/58	55/55	
特記	<ul style="list-style-type: none"> ・事業費には、特別支援学級指導員、特別支援教育相談員及び学校教育指導補助員の報酬を含む。 ・財源内訳の①「国庫支出金」は、特定防衛施設周辺整備調整交付金(平成24年度から) 							

4 学識経験者の意見

- ・特別な支援を必要とする子どもが増えている中で、丁寧に進めており、成果を上げていると思う。
- ・保幼小中の連携の仕組みがとても大事なもので、続けていってもらいたい。
- ・教職員の方は大変で、最低限の人数でやっているように思う。増員については適切に行ってほしい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果 <p style="text-align: center; font-size: 2em;">A</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級指導員及び学校教育指導補助員を学校の実態に応じて配置することができた。 ・「個別の教育支援計画」を活用して保幼小中での連携を行った。また、合同研修を実施することを通して、連携の充実を図ることができた。 ・教育相談や教育相談後における継続的な就学指導により、就学指導の充実を図ることができた。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援学級に在籍する児童生徒が年々増加傾向にある。 ・関係機関等との連携を基に、特別支援教育の充実や効果的な保幼小中連携に向けた具体的な取組を継続的に行っていく。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒の実態や状況をより早い段階で把握して、特別支援学級指導員又は学校教育指導補助員の増員を検討する必要がある。 ・保幼小中合同研修の内容や「個別の教育支援計画」の活用の工夫を通じて、保幼小中連携の更なる充実を図る。 	
振り返り項目	昨年度の今後の方向性(概要) <ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする児童生徒の実態に応じて、特別支援学級指導員又は学校教育指導補助員の増員を検討する必要がある。 ・保幼小中合同研修の内容や「個別の教育支援計画」の活用の工夫を通じて、保幼小中連携の更なる充実を図る。 	昨年度の方向性に対する取組状況 <ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導力向上を目指して、巡回相談等を積極的に利用し、学校全体で特別支援教育を推進するための研修を実施した。 ・保幼小中で、「個別の教育支援計画」を活用した連携や合同研修会を実施した。

令和2年度点検・評価シート

		評価対象年度	令和元年度	
整理番号	6		課G名	
点検項目	生徒指導の充実		学校安全課 生徒指導G	
			評価者	学校安全課長 榎田 隆志
			作成年月日	令和2年5月29日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01	一般会計		総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト	
	款	19	教育費			<input type="checkbox"/> 地方創生関連	
	項	01	教育総務費			<input type="checkbox"/> 合併建設計画	
	目	10	教育指導費			<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画	
	事業	10	教育指導費	12		適応指導費	<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	30	生徒指導推進事業	10		児童生徒適応指導事業	事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務				実施根拠(法令、条例、個別計画等)	・生徒指導員派遣要綱 ・呉市自立支援サポート委員会設置要綱 ・呉市スクールサポーター活用事業運用要綱 ・呉市いじめ問題調査委員会条例	
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの						
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務						

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中高等学校の児童生徒																								
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 問題行動が起こりにくい落ち着いた環境づくり (1) 「呉市のスタンダード（「掲示」「ロッカー」「机・椅子）」の取組の推進と徹底																								
	2 いじめの未然防止、早期発見・早期対応のための生徒指導体制づくり (1) いじめアンケートや個人面談等を通じた情報把握及び情報共有を基にした学校体制による早期対応の徹底 (2) 「いじめ撲滅キャンペーン」（年間2回）や「いじめ撲滅標語コンクール」の実施 (3) いじめに関わる教職員研修の実施（管理職・生徒指導担当教諭を対象）																								
3 問題行動の未然防止に向けた取組																									
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 12.5%;">平成29年度</th> <th style="width: 12.5%;">平成30年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>呉市スクールカウンセラー派遣回数（回）</td> <td>86</td> <td>71</td> <td>73</td> </tr> <tr> <td>メンタルフレンド派遣回数（回）</td> <td>50</td> <td>28</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>スクールサポーター派遣回数(回)</td> <td>214</td> <td>235</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)</td> <td>346</td> <td>329</td> <td>331</td> </tr> </tbody> </table>						項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	呉市スクールカウンセラー派遣回数（回）	86	71	73	メンタルフレンド派遣回数（回）	50	28	11	スクールサポーター派遣回数(回)	214	235	200	スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)	346	329	331
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度																						
呉市スクールカウンセラー派遣回数（回）	86	71	73																						
メンタルフレンド派遣回数（回）	50	28	11																						
スクールサポーター派遣回数(回)	214	235	200																						
スクールソーシャルワーカー派遣回数(回)	346	329	331																						
<生徒指導上の諸問題の状況>（小中合計） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">項目</th> <th style="width: 12.5%;">平成29年度</th> <th style="width: 12.5%;">平成30年度</th> <th style="width: 12.5%;">令和元年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>暴力行為発生件数（件）</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>63</td> </tr> <tr> <td>いじめ認知件数（件）</td> <td>270</td> <td>281</td> <td>256</td> </tr> <tr> <td>不登校児童生徒数（人）</td> <td>153</td> <td>133</td> <td>179</td> </tr> </tbody> </table>						項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	暴力行為発生件数（件）	53	54	63	いじめ認知件数（件）	270	281	256	不登校児童生徒数（人）	153	133	179				
項目	平成29年度	平成30年度	令和元年度																						
暴力行為発生件数（件）	53	54	63																						
いじめ認知件数（件）	270	281	256																						
不登校児童生徒数（人）	153	133	179																						
(3) 実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理者 <input type="checkbox"/> 補助事業 <input type="checkbox"/> その他																								
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたのか	一人一人の児童生徒の個性の伸長を図るとともに、自己指導能力及び社会的な資質や能力、態度を育成する。				(5) 成果指標																				
					指標名と説明 ①暴力行為発生件数 ②いじめ認知件数 ③不登校児童生徒数																				

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円	700	15,847	14,722	11,700
			県支出金 ②	千円	330	653	800	800
			地方債 ③	千円				
			その他 ④	千円	87	72	75	87
			一般財源 ⑤	千円	43,078	37,509	22,700	28,666
			【A】(①+②+③+④+⑤)	千円	44,195	54,081	38,297	41,253
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役	3.80	3.80	3.80	3.80
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役				
			上記以外 ④	千円				
		【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)	千円	31,969	31,969	31,969	31,969	
		フルコスト【A】+【B】	千円	76,164	86,050	70,266	73,222	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	15,698	15,526	15,323	15,060	
		②						
	活動指標	① 呉市スクールカウンセラー派遣回数	回	86	71	73	75	
		② メンタルフレンド年間派遣回数	回	50	28	11	50	
		③ スクールサポーター年間派遣回数	回	214	235	200	—	
		④ スクールソーシャルワーカー派遣校における課題解決・好転率	%	77	75	88	—	
	成果指標	① 暴力行為発生件数	件	53	54	63	—	
		② いじめ認知件数	件	270	281	256	—	
		③ 不登校児童生徒数	人	153	133	179	—	
	特記							

4 学識経験者の意見

- ・近年はSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を利用したいじめ・トラブルが見受けられる。教職員からは見えにくいところで行われるので気を付けてもらいたい。
- ・学校へ行けない、行かない、あるいは学校では落ち着かないということで、家庭で学習を続けたいという子どもが増えてくるのではないかと考えている。対応をよく考えておいてもらいたい。
- ・地域住民が学校より先に家庭の変化に気が付くこともある。地域と学校をつなげる手段があればよいのではないかな。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市全体で「呉市のスタンダード」の取組を通して、児童生徒が集中できる学習環境づくりを推進した。 ・いじめ等の問題行動に関わる教職員研修の実施に加え、いじめ撲滅キャンペーンやいじめ撲滅プロジェクトチーム等の取組を通して、学校体制でいじめを積極的に認知し、いじめの早期発見、早期対応を図った。 ・問題行動の未然防止に向けた取組を進めてきたが、暴力行為発生件数及び不登校児童生徒数は増加した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の問題行動に係る初期対応に確実に取り組むことができる生徒指導体制を確立する必要がある。 ・暴力行為については、特に自分の感情や行動のコントロールが難しい児童生徒の個々の状況に応じて、組織的な取組を一層充実する必要がある。 ・不登校については、人間関係をうまく構築できない児童生徒や家庭の問題を抱える児童生徒に対し、必要に応じて関係機関と連携を図りながら、組織的な取組を一層充実する必要がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめや暴力行為、不登校等の未然防止及び初期対応について、教職員研修の実施等を通して組織的に取り組むことができる生徒指導体制を確立する。 	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の問題行動の未然防止及び初期対応に関わる教職員研修を実施し、各校の生徒指導体制を確立する。 ・不登校の未然防止を図るとともに、不登校が長期化する児童生徒への手立てを積極的に講じる。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめ等の問題行動の未然防止及び初期対応に関わる教職員研修を、管理職及び生徒指導担当教諭を対象として実施し、各校の生徒指導体制の確立を図った。 ・学校の実情に応じて、関係機関と連携し、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等を派遣した。

令和2年度点検・評価シート

評価対象年度	令和元年度
--------	-------

整理番号	7	課G名	学校安全課 保健体育G
点検項目	安全対策の推進	評価者	学校安全課長 榎田 隆志
		作成年月日	令和2年5月29日

1 点検項目の位置付け・根拠

予算科目	会計	01 一般会計	総合計画等	<input type="checkbox"/> 総合計画 重点プロジェクト
	款	19 教育費		<input type="checkbox"/> 地方創生関連
	項	01 教育総務費		<input type="checkbox"/> 合併建設計画
	目	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 過疎地域自立促進計画
	事業	10 教育指導費		<input type="checkbox"/> 復興計画
	細事業	08 学校安全推進事業		事業開始年度
事業類型	<input type="checkbox"/> 法定受託事務		実施根拠(法令, 条例, 個別計画等)	・呉の子どもを守る会議設置要綱 ・呉市小中学校の管理及び学校教育法の実施に関する規則
	<input type="checkbox"/> 国の法令・県条例により義務付けられているもの			
	<input checked="" type="checkbox"/> 市任意事務			

2 点検項目の概要

(1) 対象 誰・何を対象に	呉市立小中学校の児童生徒			
(2) 事業概要 (事業内容) 手段・方法・年次計画など	1 登下校の安全対策			
	(1) 「呉子ども交通安全推進隊」による活動の実施（全小学校で年7回以上）			
	(2) 「交通安全教室」（全小中学校）及び小学校入学前の交通安全指導の実施（全小学校）			
	(3) 通学路の危険箇所の改善要望に対する対応			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
	要望箇所(件)	11	9	5
	合同点検回数(回)【実施率】	11【100%】	9【100%】	5【100%】
	改善件数(件)	8	7	3
	〈交通事故発生件数〉【 】は登下校中の発生件数			
		平成29年度	平成30年度	令和元年度
合計(件)	18【8】	9【4】	10【5】	
(4) 平成30年7月豪雨災害後の通学路の安全点検				
(5) 防犯プランに基づく防犯の視点での通学路の安全点検				
2 防災対策				
(1) 平成30年7月豪雨災害を受けた災害対応マニュアルの見直し（研修）				
(2) 「呉市防災教育のための手引き」に基づいた防災教育の実施と実践交流				
(3) 「防災マニュアル」に基づいた避難訓練の実施				
〈防災・防犯訓練実施状況〉				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
合計(回)【実施校数】	185【全62校】	196【全62校】	209【全62校】	
3 安全対策に係る情報発信				
〈学校メール配信システムの運用状況〉				
	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
登録件数(件)	20,546	20,314	14,617	
保護者登録件数(件)	13,154	12,458	13,418	
地域・教職員等登録件数(件)	7,392	7,856	1,199	
発信件数(件)	1,957	2,782	2,972	
(3) 実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施	<input checked="" type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	
	<input type="checkbox"/> 指定管理者	<input type="checkbox"/> 補助事業	<input type="checkbox"/> その他	
(4) 意図・目的 対象をどのような状態にしたいのか	・児童生徒が「自らの命は自らが守る」ための知識や実践力の育成を図る。 ・「不審者情報」や「防災・災害情報」等の配信により、児童生徒の安全を確保する。			
(5) 成果指標 指標名と説明	①交通事故発生件数 ②通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数 ③学校メール配信システムの発信件数			

3 投入資源・活動実績

		区分	単位	H29(決算)	H30(決算)	R1(決算)	R2(予算)	
投入資源	事業費	財源内訳	国庫支出金 ①	千円				
			県支出金 ②	千円				
			地方債 ③	千円				
			その他 ④	千円			4	
			一般財源 ⑤	千円	3,152	2,791	5,059	384
	【A】(①+②+③+④+⑤)			千円	3,152	2,791	5,063	384
	人件費	人役	正規職員(8,413千円/年) ①	人役	1.30	1.30	1.30	1.30
			再任用職員(3,610千円/年) ②	人役				
			嘱託職員(2,171千円/年) ③	人役				
			上記以外 ④	千円				
【B】(①×8,413+②×3,610+③×2,171+④)			千円	10,937	10,937	10,937	10,937	
フルコスト【A】+【B】			千円	14,089	13,728	16,000	11,321	
活動実績	対象指標	① 小中学校児童生徒数	人	15,698	15,526	15,323	15,060	
		② 通学路の危険箇所数	箇所	261	259	266	—	
	活動指標	① 安全指導実施回数	回	2,383	2,145	2,336	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望件数	件	11	9	5	—	
		③ 学校メール配信システムの登録件数	件	20,546	20,314	14,617	—	
	成果指標	① 交通事故発生件数	件	18	9	10	—	
		② 通学路の危険箇所の改善要望に対する改善件数	件	8	7	3	—	
		③ 学校メール配信システムの発信件数	件	1,957	2,782	2,972	—	
	特記	・活動指標の①「安全指導実施回数」は、「交通安全教室」「防災訓練」「非行防止教室」の実施回数の合計						

4 学識経験者の意見

- ・災害の記憶を引き継ぐ取組は大事である。呉市学校防災週間は、ぜひ毎年続けていってほしい。
- ・学校メールは、自分でも利用しているが、とても役に立っている。これからもきめ細かに運用してもらいたい。

5 担当課の評価

(1) 自己点検・評価	評価結果	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災教育の充実に向けて「呉市防災教育のための手引き」に基づいた実践を学校の実情に応じて行うとともに、事例集としてまとめ、各校に配付した。 ・出水期前までに、「土砂災害対応携帯マニュアル」の指導や防災訓練を実施した。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づき、通学路の改善対策を組織的・計画的に推進した。 ・学校メール配信システムについて、登録者に向けてより早く確実に送信できるシステムに変更した。
(2) 現在の課題と課題解決の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年7月豪雨災害を受けて、特に出水期前までに防災教育の充実を図る必要がある。 ・通学路の改善対策とともに、交通事故の未然防止及び防犯対策に取り組む必要がある。 ・学校メール配信システムの変更により、登録者が減少してしまったので、再登録を促すため周知を図る必要がある。 	
(3) 今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> ・出水期前までの防災教育の取組を確実に実施する。また、「呉市防災教育のための手引き」に基づいた取組に加え、令和2年度から7月に「呉市学校防災週間」を設け、防災教育の更なる充実を図る。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を継続して実施するとともに、安全マップに基づいた交通安全指導や防犯指導の徹底を図る。 ・学校メール配信システムの登録拡充に向けて、機会を捉え、保護者等への周知を図る。 	
振り返り項目	<p>昨年度の今後の方向性(概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出水期前までの取組を確実に実施するとともに、「呉市防災教育のための手引き」に基づいた防災教育の充実を図る。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を継続して実施するとともに、安全マップに基づいた交通安全指導や防犯指導の徹底を図る。 ・学校メール配信システムの改善を進めるとともに、機会を捉え、保護者等への周知を図る。 	<p>昨年度の方向性に対する取組状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「呉市防災教育のための手引き」を活用した授業の様子を実践事例集としてまとめ、各校に配付した。 ・「土砂災害対応携帯マニュアル」の計画に基づいた防災訓練を全校で実施した。 ・「呉市通学路交通安全プログラム」に基づく改善対策を関係機関と連携して実施した。 ・学校メール配信システムを新システムに変更することにより、メールの遅延等の改善を図った。